



## 生きていてよかったな

おっでもおらんでもよい人間はさびしい。  
おらん方がよい人間は悲しく哀れだ。  
おっで欲しいと、希まれる人間になりたい。  
しかし、それよりも、「おっでよかった」と、  
自分に領ける人間になりたい。

役に立つか立たないか、必要であるか必要でないか、そんなもの差して計られてはたまらない。たとえ、まわりの者みんなから厭われ嫌われようとも、見捨てることのない親がいた。

仏さまだけは、いつでもどこでも「一子のごとく憐念す」と、私に慈悲の眼をそそぎ給う。「私の一人子だよ、どうして救わずにおられようか」と、私を放さぬ親がいた。

「ナンマンダブツ」の働きは、この私目当てであったと知らされた時、「生きていてよかった」と、しみじみ味わえる人間になれる。

函館別院 輪番 佐々木俊朗

ふれあいの寺 西本願寺函館別院

函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647

12月28日(土)～30日(月)は本堂の「煤払い」と御本尊の「御身拭」のため、月忌参りをお休みさせていただきます。

# 報恩講 **スナッフ集**



楽しいよろこびの広場の  
始まりです。  
おいしい物もいっぱい!



渡辺さんの乾杯の音頭



すっかり板につきました!  
おなじみ、バナナのたたき売り



文明の機械は  
むずかしい?



串カツ揚げの  
見事な手つきです  
おいしそうですね



お楽しみ抽選会  
1等は自転車でした  
おめでとうございます



モテモテですねえ〜佐々木輪番



すっかりリラックスの一時...



## 仏教婦人会 報恩講

物故者追悼法要  
**11月23日(土)**  
●午後1時より ●本堂にて

**法話** 佐々木輪番

## 江差別院 報恩講

**11月11日(月)** | **11月12日(火)**  
(13:00~逮夜) | (7:00~晨朝)  
(18:30~初夜) | (10:00~満日中)

本願寺派布教師

**法話** 熊谷 淑子 | **法話** 佐々木輪番

# 平成8年 親鸞聖人



和やかな打ち合わせ風景です(まだまだ余裕?)



今年の御伝抄は  
神田参勤と  
小笠原参勤でした  
緊張の表情



すばらしいお話しでした



あ〜あ大変!



キッチンと自分で  
お掃除しましょう



ひとつひとつついでにいかに...  
手先は器用ですか?きれいに仕上げてね



しんちょうに、しんちょうに!



コックリコックリ  
さて誰でしょう?

**講演と  
映画の集い**

日時 **12月2日(月)**  
14:00~

会場 **西別院文化会館1F**

会費 **無料**

映画「**光りの島**」上映  
映画監督**大重潤一氏**講演

除夜の鐘をつきましょう

**除夜会**

**12月31日(火)**  
**大晦日**

●午後11時30分より本堂にておつとめ  
●引き続き除夜の鐘

三會合同  
**報恩講**

壮年会・覚信尼会・青年会  
**12月16日(月)**  
●午後6時より ●本堂にて

**法話** 佐々木輪番

# ザ・歌謡ショー

よろこびの広場ではカラオケ大会を開催しました。  
自慢ののどを披露してくれた方々を紹介。  
みなさんとってもお上手でした。



素晴らしい「江差追分」を  
聞かせて下さった法敬寺さん



みなさん素晴らしい熱唱です。



なかなかお似合いですねエおふたりさん  
熊谷さんと輪番、歌うは「浪花恋しぐれ」



いい笑顔です



表彰式の風景です  
輪番から賞品を受け取り、  
うれしそうですね

■喜びいっぱい、夢いっぱい■

豊川町の今村さんに、お父さんのお話しを聞かせて頂きました。あまりお寺参りをされなかつたお父さんが、亡くなられる前に、未代無智の御文章を読み「これで私は助かる」喜びました。阿弥陀様の「必ず救う、救わずにはおれない」という呼び声を聞きながら、ただ頭で理解し喜べない自分があります。すこい方だなあと思うと同時に、お恥すかしい限りです。でも、考えても見なかつた函館で、多くの御縁を頂く喜びのたえないこの頃です。(佐々木)

■ご縁なんですね■

青柳町の森静枝さんのお宅にお参りに伺ってお話ししていると、何と私が九月までお参りしていた深堀町の米内さんと親せきとの事。世の中広いようで狭いですね「これもご縁なのでしようかね」二人で驚いていました。

その米内さんのお婆ちゃん、先日ケガをされて、今ギブスをつけておられると聞き、またまたビックリ。森さんも「せつかく手のケガが良くなつたばかりなのに...」と心配されていました。どうぞ無理せず、お大事にして下さい！

十月から新しい区域(西部地区あたり)をまわっています。又、いろいろなご縁に遇わせて頂けたらと思っています。どうぞよろしくお願ひします。(小笠原)

■はるばる来てよ報恩講■

日吉町の中山さんご夫婦。とてもカラオケが上手で、このたびの報恩講でのよごの広場では歌を披露して下さいました。とてもお上手でした。話は変わりますが、今回の報恩講には私がお参りさせていたでいる地区の方が前年より多くお参りして下さいました。遠い所よりようこそお参りでした。ふだんは遠くにお参りできないようですが、報恩講は年に一度の大行事なのでぜひともみなさん一度お参り下さい。(石黒)



■工夫一つで■

七飯大川の三好さんは、いつもお参りをされるお仏壇の隣にラジカセを置いておられます。そのラジカセには大きく、かける「巻き戻し・ラジカセ」と書かれたシールを貼っています。

いつも見ていて感じるのですが、とにかくスイッチが多くなっている最近の電気機器をチョットした工夫一つで使いこなしている三好さん「すごいなあ」と感心するばかりです。

■お話しましよ■

この十月よりお参りさせて頂くようになった堀川町の高橋さん、お参りに伺うと雨がふつているにもかかわらず、そこに車を止めるとアブナイからと、わざわざ歩いて駐車場まで案内して下さいました。お参りの後何もわからないですよ「お話ししよ」の事なら、仏法の事、おかざりの事ならです。



ど、いろいろお話しさせて頂き二時を過ぎさせて頂きました。これからは気がねせず、いろんな話をして下さい。(神田)

■新しいスタート■

本通二丁目にお住まいの林さんは、函館自由市場にお店を出されています。でも、昨年末の火事で林さんの店も被害を受けました。お参りに伺ったとき「私たちの市場焼けちゃった」と寂しそうに言っておられたのを覚えています。でも、その災難を乗り越えて、八月に自由市場で店を再開したそうです。最近伺ったときも「もう店を出しているのよ、ぜひ来てね」と言っておられました。

■九州弁がつかしか■

深堀町の村川さんは、熊本県のご出身、また奥様は私と同じ長崎県のお生まれです。函館に来て三十年、「第二の故郷」になりました。お話しする言葉の中にまだ少し九州の言葉が残っているのです。九州弁を聞くと、やはり心がなごみます。言葉の響きに何となく暖かみを感じてしまうのでしょうか。これからもよろしくお願ひします。まだまだご紹介したい人がたくさんいらっしゃると思いますが、お参りの地域が変わつたばかりでお名前とお顔が一致しません。次回をお楽しみに！(石丸)

■ご門徒さんに引つ張られ■

松川町の若山さんは私がお参りに伺いますと、必ず私と一緒に御文章を拝読されます。その後、御文章の内容のことや、歎異抄のことなどいろいろな質問をされ、熱心に聞いておられます。

■ふれあいの寺に向かつて■

本通二丁目にお住まいの小越さん。お寺で行事があるときは、いつも脚繫く通われてときには泊まり込みでいろいろなお手伝いをして下さって本当に有難うございます。先月行われた宗祖聖人報恩講にも駆けつけて下さり、早朝より夜遅くまでお寺に参詣された方々へのお齋等、婦人会々員の皆さんとにぎやかにお手伝いして下さいましたね！

■温もりを感じる■

皆さんの手の温もりを感じるお心づくしに負けぬよう、温もり溢れるお寺を目指して参ります。(黒田)

■宮前町の伊関さんのお婆ちゃんも、白内障で目が不自由にもかかわらわす、お参りに伺うとすぐ後ろに座られ一緒にお参りされます。そして、「よろしければ二度歎異抄も聞かせて下さい」とおっしゃってられました。

まだまだたくさん熱心な御門徒さんがおられますが、共に歩んでいくために、私も精進しなければ、と思う今日このごろです。(吉村)

にしん通信



先日から2、3度峠越えして函館に行く機会がありました。そんな折、車を運転してふと周りの木々が赤や黄色などに色づいているのに気が付き綺麗だなと思うと同時に、あーもうそんな季節なのだと思つたことです。そんなときに頭の中によぎつたのは、別院の門の前のイチヨウの木のことです。去年は手が届くくらいまでギンナンがなつていたはず、今年はどうかな？ さっそく別院に帰って観てみると去年の半分も有りません。いったいどうしたのかなんだろうか？

秋は「実りの秋」などと言う言葉がありますが今年は何もあてはまらないようです。また、一日一日、ひと風ひと風ごとに葉が落ち、ギンナンもそれとともに落ちて江差も冬に近づいて行くのです。

平成八年九月二十九日  
富山県富山市よりお参りさせて  
頂きました。  
祖父母、両親、妻の両親、叔父叔母、  
兄弟等の代わりにもなってお参りました。  
身内のしえなかったことを代わりに出来て  
お参りさせて頂くことにより  
幸を感じ激しい涙に胸をうたれました。  
御同朋のより健康を祈りつつ  
この地をあとに帰ります。  
ありがとうございました。

二木 清一  
(妻) 美波子

8年10月12日 9時  
亀田郡大野町字開発376  
上出 昇  
" 久美枝

参拜

取り返しのつかない事を  
してしまった私でも、阿弥陀様は  
救ってくれるのでしょうか？

H8.9.1

罪を犯しつつ生きている私たちです。  
そのような私たちだからこそ  
阿弥陀様は救って下さるのです。  
「不断煩惱得涅槃」(正信偈)

H8.10.8  
今日のお昼VERY goodでした。  
THANK YOU。

お彼岸にお参りに参じ、  
素晴らしいお話しを  
頂きました。何時の間にか  
心の中がそよ風に  
洗い清められる様な思いで  
帰途につきました。  
本当にありがとうございました。  
(新井野 徳子さん)

# 心 の花 束

— 本堂の雑記帳より —



大学生に正信偈はキツイ。  
カンベンして下さい。  
96.9.10 龍大生

もったいなない ああ もったいなない  
南無阿弥陀仏  
21才 学生

## 新人職員紹介

よろこびを願っています



佐々木 覚爾

はじめまして。

この度、叔父の御縁で採用して頂きました。何分、恥ずかしがり屋で照れ性なものですから、大阪の人間には見えないかもしれませんが、でも、仏様に仕え、み教えを伝えさせて頂く喜びでいっぱいなんです。が、ご迷惑をおかけするのは目に見えらるような気がしますので、その時は何とぞ宜しくお願いします。

## お久しぶりです永江さん



「永江さんが来られるんですね」秋季彼岸会を前にこんな声があちらこちらで聞こえてきました。  
多くのご門徒さんが顔を見に、話を聴きに來られ、昼も夜(？)もひっぱりダコ。  
本当におつかれさまでした。

# 園児募集

明るい日差し・暖かいぬくもりが、  
のびやかに子どもを育ててくれます。  
人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を伝える  
宗教教育、それが**龍谷幼稚園**です。

願書配布 平成8年  
**11月13日(水)13:00**から

願書受付 平成8年  
**11月27日(水)13:00**から

お問い合わせは

**龍谷幼稚園 ☎23-0274**

# ミッキークラブ

お母さんがお仕事を持っておられる方、  
急に一日用事で出かける方、安心して  
お出かけ下さい。

**ミッキークラブ**でおあずかりします。

**対象** 龍谷幼稚園生 並びに  
2歳以上の弟妹

**担当** 古澤 妙子先生  
(元龍谷幼稚園主任)

お問い合わせは

**龍谷幼稚園 ☎23-0274**

**ミッキークラブ ☎27-4304**



## お西さんテレフォン法話

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

0138 27局 2424番

- |                          |                           |
|--------------------------|---------------------------|
| ●10月27日(日)～11月 2日(土)…輪 番 | ●12月 1日(日)～12月 7日(土)…神 田  |
| ●11月 3日(日)～11月 9日(土)…石 黒 | ●12月 8日(日)～12月14日(土)…輪 番  |
| ●11月10日(日)～11月16日(土)…輪 番 | ●12月15日(日)～12月21日(土)…石 丸  |
| ●11月17日(日)～11月23日(土)…佐々木 | ●12月22日(日)～12月28日(土)…輪 番  |
| ●11月24日(日)～11月30日(土)…輪 番 | ●12月29日(日)～ 1月 4日(土)…小 笠原 |

土曜の会へ行こう

●十一月 三十日(報恩講)  
●十二月 休み  
会場 日吉町熊合宅にて

お問い合わせ ☎(0138)546859

浄書(写経)の会

●十一月 四日  
●十二月 二日

ようこそ常例布教へ

(11月) 北海道教区 空知北組 教証寺  
**森田 晃智** 先生

12月 西館市 瑞教寺  
**小松 正樹** 先生

12月 八雲町 西教寺  
**吉村 善充** 先生

十一月 十一日 職員法話  
十二日 布教使

十五日 輪番法話  
十六日 輪番法話  
(午後1時30分より)

※十一月の輪番法話は、都合に布教使の法話にいたします。  
※なお、毎月十六日は、十二時半より十六日会です。

おくやみ申しあげます。

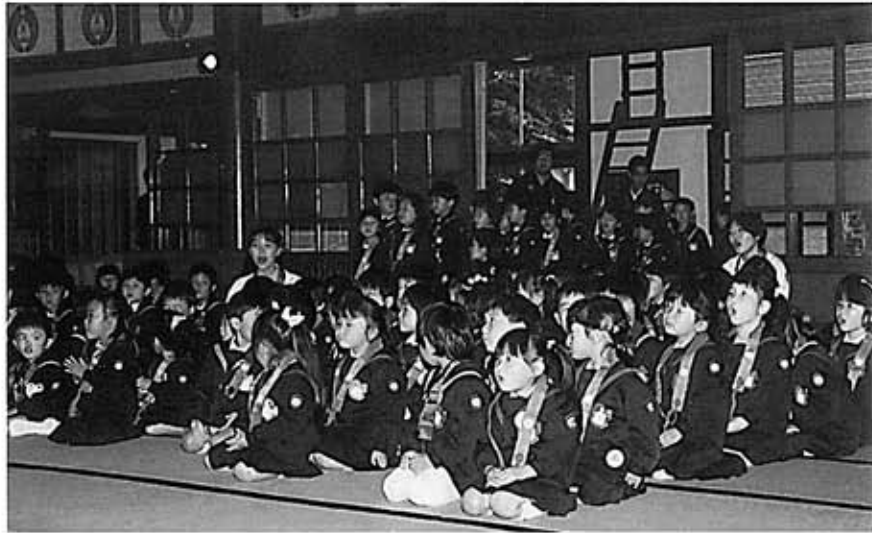
永代経懇志  
ありがとうございました。

## 編集後記

▼「報恩講もあと少しで終わりだ」と  
考えながらフトンに入る。と突然、  
歯痛に襲われ、とても寝られたもの  
ではない。「しまった！病院に行っ  
ておけばよかった」と後悔してもア  
トの祭り。翌日には見事な「こぶと  
りじいさん」状態に。そのうち、そ  
のうちと先送りになっていた自分に腹  
が立つやら、情けないやら。  
「これが私の本性(すがた)なんだなあ  
」と反省。  
(小笠原)

▼函館山が一日一日と紅く姿を変えて  
ゆきます。誰かに観てもらうためにき  
れいになるわけじゃなく、自然のまま  
の姿が、精一杯生きている姿が感動を  
与えるのでしょうか。私も見習いたいと  
思います。  
(石丸)

# 龍谷幼稚園で～す



お西さん十一月・十二月号

平成八年十一月二日発行  
発行所 龍谷幼稚園

発行所 本願寺函館別院

発行人 代表者 本願寺前住持 佐々木俊朗

〒0138230 647 制作 彩紋(さいもん)



お灯りもちたい、「私、お花もちたい」などと口々にいい、はしゃいだ様子で本堂へ入りました。  
しかし、本堂に入ると、誕生会の時と違う様子に気付いた子ども達は、一瞬にして神妙な表情に変わっていたのでした。



「子ども達の報恩講」  
丹下涼子先生  
10月14日の報恩講では、「先生、誰がおやくそくいっしょの？」、「僕

み仏様のたくさんのお飾り、周りにいるたくさんのお坊さん、そして、何よりも子ども達をひきつけたには、園長先生のお着物でした。見慣れていた黒いお着物ではなく、黄色と紫色の衣に、子ども達は驚いたようです。  
お参りが終わりに戻ると、早速、女の子たちは、「園長先生素敵だったね」、「かっこうよかったね」と、嬉しそうに話していました。  
いつもと違った雰囲気の中での参りが、子ども達には新鮮で、とってもお行儀よくできたので、園長先生からごほうびにお餅を頂きました。  
次の日、「昨日のお餅、おいしかったよ」と、子ども達は大喜びでした。

